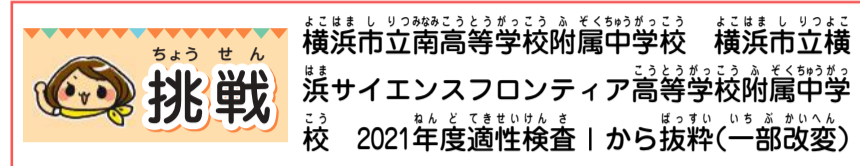




エスディー・ジェー・エムディー・ジェー・エス SDGsにつながるMDGsは 目標を達成できた？



執筆・早稲田進学会(大島茂) イラスト・はしあさこ



「地球規模の課題」というテーマの学習をしているみなさんと
かさんが、会話をしています。次の【会話文】を読んで、あとの
問題1～問題5に答えなさい。

【会話文】
みなみ：先日、先生から課題として出された、MDGsという言葉について調べてきました。

りか：SDGsではなくMDGsですか。
みなみ：そうです。MDGsは、開発分野における国際社会共通の目標です。これは2000年の9月にニューヨークで開催された「国連ミレニアム・サミット」で採択された「国連ミレニアム宣言」を基にまとめられたものです。これに参加したのは世界で189の国に及びました。【資料1】を見てください。MDGsは【資料1】のような「目標」や「ターゲット」が設定されていて、これらの達成期限は2015年まででした。

りか：MDGsが【資料1】のような内容になったのはどうしてなのでしょう。

みなみ：MDGsで示された「目標」や「ターゲット」は、「一部の国や地域の課題を対象としている」といわれています。まず【資料1】の「ターゲット2-A」とそれに関係のある【資料2】をみて、【資料2】のすべての年代で、世界全体の割合を下回っている国を読み取ってみましょう。

りか：複数国あるんですね。

【資料1】MDGsの目標とターゲット(抜粋)

目標1 極度の貧困と飢餓の撲滅	ターゲット1-A 2015年までに1日1ドル未満で生活する人口の割合を1990年の水準の半数に減少させる
目標2 普遍的な初等教育の達成	ターゲット2-A 2015年までに、すべての子どもが男女の区別なく初等教育の全課程を修了できるようにする
目標3 ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上	ターゲット3-A 2005年までに、初等・中等教育で男女格差の解消を達成し、2015年までにすべての教育レベルで男女格差を解消する
目標4 乳幼児死亡率の削減	ターゲット4-A 2015年までに5歳未満児の死亡率を1990年の水準の3分の1にまで引き下げる
目標7 環境の持続可能性を確保	ターゲット7-C 2015年までに安全な飲料水と衛生施設を継続的に利用できない人々の割合を半減する

※1 初等教育…日本では小学校での教育 ※2 ジェンダー…性別 (「国連開発計画 経日代表事務所」ウェブサイト) をもとに作成
※3 中等教育…日本では中学校・高等学校での教育

【資料2】初等教育の学校の就学率(%)

	2000年	2010年	2012年	2015年
韓国	99.6	98.2	98.9	98.2
キューバ	96.7	99.2	96.9	92.2
オーストラリア	94.0	97.0	97.5	97.0
コロンビア	94.6	93.6	91.5	90.6
ドミニカ共和国	83.5	89.3	86.8	86.9
セネガル	57.4	69.8	71.7	71.4
スペイン	99.8	99.6	99.6	99.4
モザンビーク	55.2	86.9	85.4	89.1
世界全体	83.6	88.9	89.4	89.6

(「ワールドデータアトラス」をもとに作成)

みなみ：次に【資料1】の「ターゲット3-A」とそれに関係のある【資料3】をみてください。表の中からすべての年代で、就学率の男女差が世界全体のそれより大きくなっている国を探してみましょう。

りか：これらの国々は、男女の間で学校に通っている割合に差があるんですね。しかし、1997年以降、この男女の就学率の差が縮まってきている様子も読み取れます。1997年～2016年までの間に初等教育の学校の男女別就学率の差が最も縮まっている国は【資料3】によると(あ)です。

【資料3】初等教育の学校の男女別就学率(%)

年代	1997～2000*		2000～2004*		2000～2007*		2011～2016*	
	男	女	男	女	男	女	男	女
日本	100	100	100	100	100	100	100	100
ブルキナファソ	42	29	42	31	52	42	71	67
スウェーデン	100	100	100	99	95	95	99	99
エチオピア	53	41	55	47	74	69	89	82
ブラジル	100	94	98	91	94	95	92	93
カンボジア	100	90	96	91	91	89	94	96
ニュージーランド	99	99	100	99	99	99	99	99
イエメン	84	49	84	59	85	65	92	78
世界全体	85	78	85	79	90	86	90	89

*…指定されている期間内に入手できたデータの中で最近の年次のものであることを示す。
(「世界子供白書」をもとに作成)

りか：さらに「目標」や「ターゲット」に関する資料はありますか。

みなみ：【資料4】と【資料5】があります。

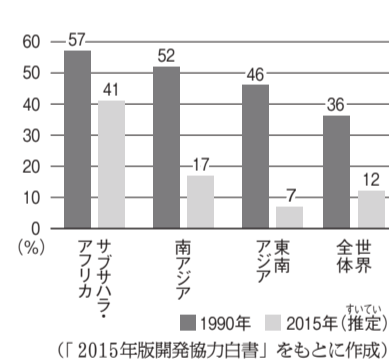
りか：これらの資料を見ると「ターゲット1-A」について、世界全体の割合では達成されていますが、(い)の地域では達成されていません。「ターゲット4-A」については、(う)。

みなみ：MDGsは、達成された目標も未達成の目標もある中で、2015年を迎えました。

りか：その後、MDGsの結果や新たな課題をふまえて設定された国際社会共通の目標が、SDGsですね。

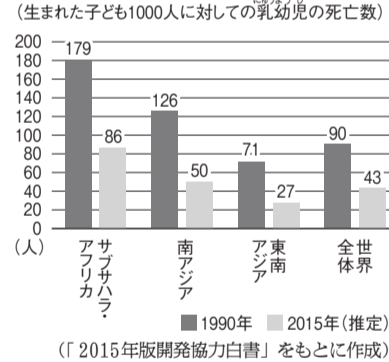
みなみ：SDGsは、MDGsに代わって2015年の9月に国際連合本部で開催された「国連持続可能な開発サミット」でまとめられた「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に書かれたものです。そこには、国際連合の193か国の加盟国が、2030年までに達成を目指す目標が提示されています。

【資料4】1日1ドル未満で過ごす人の割合



(「2015年版開発協力白書」をもとに作成)

【資料5】5歳未満児死亡率(生まれた子ども1000人に対する乳幼児の死亡数)



(「2015年版開発協力白書」をもとに作成)

問題1 ① _____線にあてはまる国を次からすべて選びなさい。

- ア 韓国 イ キューバ ウ オーストラリア エ コロンビア
オ ドミニカ共和国 カ セネガル キ スペイン ク モザンビーク

問題2 ② _____線にあてはまる国を次からすべて選びなさい。

- ア 日本 イ ブルキナファソ ウ スウェーデン エ エチオピア
オ ブラジル カ カンボジア キ ニュージーランド ク イエメン

問題3 (あ) _____線にあてはまる国を次から一つ選びなさい。

- ア 日本 イ ブルキナファソ ウ スウェーデン エ エチオピア
オ ブラジル カ カンボジア キ ニュージーランド ク イエメン

問題4 (い) _____線にあてはまるものを次から一つ選びなさい。

- ア サブサハラ・アフリカ、南アジア、東南アジア
イ 南アジア、東南アジア ウ 南アジア エ サブサハラ・アフリカ

問題5 (う) _____線にあてはまる文を次から一つ選びなさい。

- ア すべての地域で、達成しています
イ すべての地域で、達成していません
ウ 世界全体の割合では、達成していませんが、東南アジアでは達成しています
エ サブサハラ・アフリカのみ、達成していません



解説・解答を見ないで、まず自分で分析してみよう！



問題1 【資料2】で、各年代で世界全体の割合を下回っている数値にマークをつけ、手際よく見つけていきましょう。

問題2 【資料3】で、まずすべての年代について世界全体の就学率の男女差を求めます。次に男女差が見られない年代のある日本、スウェーデン、ニュージーランド以外の5か国について、一つひとつ差を求めて世界全体とくらべます。

問題3 男女の就学率について、1997年～2000年の差と2011年～2016年の差をくらべ、その差がもっとも大きいものを見つけてます。

問題4 サブサハラ・アフリカは、アフリカ大陸の中央にある広大なサハラ砂漠より南にある国々です。人口は約10億人で、さらに増加する傾向にあります。貧困率は世界でもっとも高く、多くの子どもが栄養失調や感染症の危機にさらされ、支援が求められています。



- 問題1 カ、ク 問題2 イ、エ、ク 問題3 ク
問題4 エ 問題5 イ 毎週日曜に掲載します。